

いろいろな人が気付かせてくれた

高梁市の魅力

「温かかった高梁市」
〜保育園留学（愛知県→高梁市）体験者の声〜

今年の7月、私と妻、5歳の息子、3歳の娘の4人で、有漢町へ2週間の保育園留学に行ってきました。普段住宅街で暮らしているのので、自然に恵まれた土地で子どもたちへのびのび遊んでほしいと思いい、有漢町を選びました。

有漢町の方々は、私たち家族の歓迎会を開いてくださり、桃やトマト、味噌などを届けてくれました。地域の夏祭りに参加させていただいたときも皆さんが気さくに声をかけてくださり、とてもありがたかったです。

有漢子ども園では先生や友だちが温かく歓迎してくださり、子どもたちはすぐになじむことができました。息子と娘が特に気に入っていたのは田んぼでの泥遊び。散歩しているときに「田んぼの道はこっちだよ」と教えてくれて、子どもたちが園生活を心から楽しんでいることに喜びを感じました。

子ども園では子どもたちが栽培している野菜を給食で出してくれるのですが、採れたてで、しかも自分たちが収穫した野菜は格別だったのか、苦手だったトマトやピーマンを食べられるようになっていました。普段はその日の出来事を報告しない子どもたちが、滞在中は毎日楽しそうに教えてくれました。日が経つごとに「あと〇日」と寝る前さびしそうにカウントダウンしている姿を見て、切ない反面、連れてきて本当に良かったと思いました。



私たちが保育園留学を体験しました



留学体験をしたご家族とNPO 夢風車うかんのメンバー

滞在期間：2週間

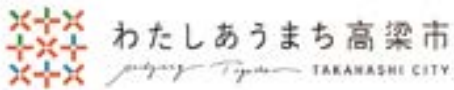
留学先：有漢子ども園

留学した園児：5歳、3歳

居住地：愛知県

詳しい体験談はこちら→
(株式会社キッチハイク)





まちの魅力を伝える取り組み

市では都市ブランドの確立をめざし、まちの魅力を売り込む「シティプロモーション」の取り組みを推進しています。まちの魅力を市内外に効果的に発信することで関係人口を増やし、将来的に移住、定住へとつなげていくことを目標としています。

保育園留学

市は、株式会社キッチハイクと連携し、県内初となる「保育園留学」を有漢地域で令和5年7月に開始しました。

参加者は、2週間程度ゆっくり高梁市で過ごしながら、子どもたちは保育園に通いながら都会ではできない遊びを体験し、ご家族はワーケーションや休暇を活用し、観光やいつもと違う日常を楽しむことができます。仕事を続けながら自然の中で子育てする良さを広め、関係人口の増加や地域の活性化を目指します。

問 デジタル・未来戦略課 ☎ 21-0007



移住コンシェルジュ

移住を希望している人にきめ細やかな相談・サポートを行う「移住コンシェルジュ」。「そのまちで生活をする」ことを前提とした住まいや暮らし、各種支援制度やまちの魅力などの情報を提供するほか、希望に応じて現地案内もしています。



移住コンシェルジュ
やまがたまりこ
山縣麻理子さん

私も移住者で、当時の移住コンシェルジュから地域の人を紹介してもらいました。地域の話が聞くことができたときはとても心強かったです！

このありがたい経験をこれから移住を考えている人にお返ししていけたらと思っています。

問 住もうよ高梁推進課 ☎ 21-0282

お試し暮らし住宅

田舎暮らしや就農を希望している人に、市での暮らしを知っていただくため、地域団体の運営によるお試し暮らし住宅を貸し出しています。

市の気候・風土、日常生活を体験でき、本格的な移住の準備に向けて仕事探しや家探しの拠点にしたり、地域住民や先輩移住者との交流、空き家情報バンク物件の内覧など、滞在期間に合わせてさまざまな体験をすることができます。

問 住もうよ高梁推進課 ☎ 21-0282



▲天空の里平川お試し暮らし住宅
(備中町平川)

▼備中宇治彩りの山里お試し暮らし住宅
(宇治町宇治)



他にも!

市からの情報発信を行っているソーシャルメディア、住まいに関する制度、結婚・出産・子育て・教育に関する制度、就農・就労・起業に関する制度などを一覧として市ウェブサイトに掲載しています。





心を込めた物には
本当の想いが返ってくる

あかさやすひろ
赤迫靖浩さん

祖父母が高梁に住んでいたの
で、昔から高梁のブドウを食べ
ていました。大粒で糖度が高
く、芸術作品のような美しさを
持つブドウに心を揺さぶられ、
ブドウを作りたい！という強い
思いから平成27年4月に倉敷市
から移住しました。

一つ一つ丁寧に、心を込めた

おいしいブドウを多くの人に届
けたい一心で始めたブドウ作り
も今年で8年目。ブドウを通し
て人が訪れてくれたり、お手紙
をいただいたり、お金では買え
ない想いや力をもらっています。
赤迫農園のブドウがいい！
と言っていただけのようなブド
ウをこれからも作り続け、いつ
か私が作ったブドウでワインを
作り、高梁を更に魅力的にした
いと思っています。



いろいろなところから
元気をもらえる

さかいなみき
境南葵さん

自然に囲まれた生活に憧れて
いた私は、人のご縁で高梁を知
り、ここで大好きなイラストを
描くなどの仕事をしながら暮ら
していこうと令和5年3月に東
京都から移住しました。移住の
際は、移住コンシェルジュの方
からインターネットで検索して
も出てこないまちの魅力や情報
なども教わることで、とて

も助かりました。
高梁の人の温かさ、自然の恵
み、素敵な景観など全てから元
気をもらい、伸び伸びと自分ら
しくいられるようになりまし
た。高梁に住んでいた人・住ん
でいる人たちが残してくれたか
らこそだと感謝しています。私
の経験を自分にできる方法で伝
えることで、日々の生活に悩ん
でいる人たちの手助けになれば
と思います。



人を迎え入れてくれる

温かい場所

川井裕稀さん

高梁へ初めて訪れたのは3年前の村・留学体験時で、私は学生でした。高梁で過ごした素晴らしい体験が忘れられず、留学後も数回訪れました。地域の方には滞在時の住まいを用意していただいたり、家にお邪魔させていただいたり、多くの人たちと関わる中で、いつか人に温か

い、この高梁に住みたいと考えようになりました。卒業後に住んでいた東京から離れることになり、令和5年7月に高梁へ移住を決めました。移住のときは、新しいご近所さんや知り合いの人たちが大歓迎してくれて不安は全くありませんでした。これからも人とのつながりを大切にしながら高梁で過ごしていきたいと思えます。

移住者 受け入れ団体の声

私が嬉しかったときのよう
皆さんにも喜んでもらいたい

吹屋に住んでみんな
銘形一哉さん

銘形一哉さん
長野県出身。令和2年に吹屋食堂を継承し二代目店主となる。

私自身も移住者で高梁で暮らして6年になります。令和5年の春から地域の人へ声がけを始め、8月に移住者受け入れ団体の「吹屋に住んでみんな」を発足しました。吹屋に住んでみんなは約30人で構成されており、吹屋の住民だけではなく、周辺地域からも参加してもらっています。みな地域を維持したいという気持ちが強くなり、地域の人を巻き込みながら移住者を受け入れる環境づくりに尽力しています。

高梁は心温かい人々が多く、私も移住したときには、とても優しく迎え入れてくれました。また、高梁は子どもだけではなく、大人も楽しそうに生き生きと人生を謳歌している姿が印象的で、人口が少ない分、一人一人が影響力を持ちやすいことも魅力の一つだと思います。元気で素敵な皆さんと共にこれからもできることをしていきたいと思っています。



▲吹屋に住んでみんな会の皆さん

市内の移住者受け入れ団体を紹介します

問住もうよ高梁推進課 ☎ 21 - 0282

移住に伴う住居や仕事の確保、地域の慣習や人付き合いなどに対する不安を解消し、スムーズに移住者を受け入れるために、移住相談、地域住民との交流、お試し暮らし、移住のサポートや移住後のフォローに取り組んでいます。



①団体名 ②具体的なサポート内容 ③ひとこと



① 平川村定住推進協議会

- ② 「体感田舎暮らし」を提供します。トマトやブドウの収穫作業や、地域の行事を体験できます。
- ③ これまで10組以上の新規就農者が移住し、トマトやブドウを栽培しています。



① 備中宇治彩りの山里・住むか暮らす会

- ② 空き家への案内や、地域住民との交流をサポートします。
- ③ 10年以上、移住をサポートしています。案内や地域との繋がりを持たせることには自信があります。



① 松原地域まちづくり推進委員会

- ② 空き家への案内や、地域住民との交流をサポートします。
- ③ 標高が高いため、雲海の時期は備中松山城と雲海の雄大な景色を見ることができます。市街地まで近いこともおすすめポイントです。



① NPO 法人 夢風車うかん

- ② 空き家への案内や、保育園留学をサポートします。
- ③ 丁寧なサポートを心掛けています。人との関りが多く、地元のイベントも盛んです。保育園留学など新たなことにも挑戦しています。



① 湯野農地プラン

- ② 空き家への案内や、新規就農をサポートします。
- ③ 県内有数のトマトの名産地であり、トマト農家として移住した人が多くいます。畑地の用水施設や農地も整備されています。



① 吹屋に住んでみん会

- ② 空き家への案内や地域住民との交流をサポートします。
- ③ 吹屋は観光地でありながら人の生活の営みが息づいているため、訪れた人にどこか懐かしさを感じさせる町です。ぜひ一度訪れてみてください。

空き家でお困り？ 空き家情報バンク制度をご利用ください



市では、人口減少や過疎化、少子高齢社会などが進むにつれ、全国的な傾向と同様に空き家が増加傾向にあります。適切な管理が行われず放置されている空き家は、建物の倒壊や環境衛生の問題など、生活環境にさまざまな影響を及ぼす可能性があることから、早期解決が求められるようになってきました。家は人が住まなくなると、あっという間に老朽化が進みます。家屋の維持のためにも、入居者に管理してもらうという気持ちで貸してみたいかがでしょうか？売却を希望される場合もお気軽にご相談ください。

☎住もうよ高梁推進課 ☎ 21 - 0282

ご活用ください！ 空き家に関する助成

●空き家情報バンク活用促進助成金(空き家再生助成事業)

空き家情報バンクの登録物件を対象に、空き家の活用に必要な経費の一部を補助します。

☎住もうよ高梁推進課 ☎ 21 - 0282

●高梁市老朽危険建物除却促進事業補助金

近隣民家や道路に被害を与えるおそれがある空き家を取り除くための工事費の一部を助成します。

☎環境課 ☎ 21 - 0259

知っていますか？ 相続登記の申請が義務化されます



岡山地方務局

●いつから義務化される？

令和6年4月1日から義務化されます。

●相続登記とは？

不動産の所有者が亡くなった場合に必要の手続きで、亡くなった人が所持していた不動産の名義を変更し、新しい所有者を明確にするための手続きです。

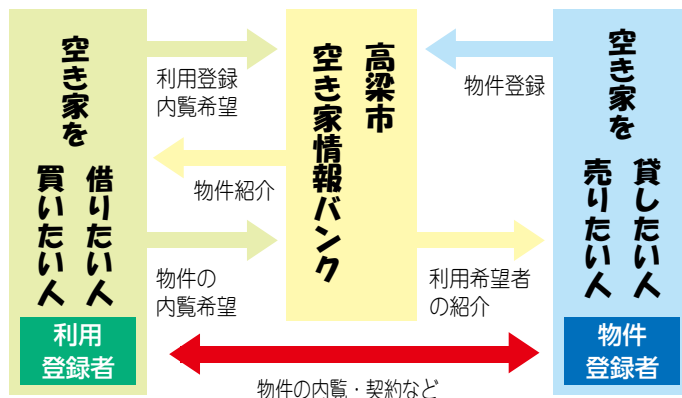
●申請をしないとどうなるの？

正当な理由がなく義務に違反した場合、過料の適用対象となります。

※施行日前に発生した相続にも申請義務が課されます。

☎岡山地方務局高梁支局 ☎ 0866-22- 2318

空き家情報バンクの流れ



●空き家情報バンク制度とは？

空き家や空き店舗などを貸したい人や、売りたい人が「空き家情報バンク制度」へ登録することで、借りたい人、買いたい人に市が希望物件の情報を提供する制度です。

